

# 損保カルテルで立ち入り

## 公取委 大手4社に行政処分検討

① 企業や自治体向けの保険でカルテルを結んだとして、公正取引委員会は19日、独禁法違反（不当な取引制限）の疑いで損害保険大手4社などを立ち入り検査した。違反行為が確認されれば、排除措置命令などの行政処分を検討する。関係者への取材で分かった。審査対象の取引先は先行して任意調査していた2社を含め、8社・団体に拡大。公正な取引を阻害する行為は

業界で広く行われていたとみられ、公取委は、実態解明には強制力のある立ち入り検査が必要と判断したとみられる。

関係者によると、立ち入り検査を受けたのは、東京海上日動火災保険と損害保険ジャパン、三井住友海上火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険の本社や保険代理店2社など計22カ所。カルテルの疑いは、主に複数の損保でリスクを引き受ける「共同保険」と呼ばれる契約形態で浮上している。

損保各社は、私鉄大手京成電鉄▽石油元売り大手コスモエネルギーホールディングス、コスモ石油▽電機大手シャープ▽発電会社J

ERA（シエラ）▽エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）向けの共同保険で保険料を事前調整。単独契約でも、JOGMECとの取引の一部と、東京都が実施した公用車の

損害保険大手4社による企業や自治体向け保険のカルテル疑惑が生じた取引先は100社・団体を超え、公正取引委員会が審査対象とした8社・団体をはるかに上回る。競合同士が水面下で連絡を取り合い、保険料を調整する行為が横行していた。要因として火災保険収支の悪化が指摘されて

自動車保険などの入札で、受注者を決めていた疑いが持たれている。

各社は遅くとも2013年以降、事前調整を始めたとみられ、それぞれの取引先から年間5億〜80億円の保険料を受け取っていたという。

公取委は8月、東急グループ向けと、仙台空港の運営会社「仙台国際空港」の契約を対象に任意調査し

ている。カルテルの温床となったのは、複数の保険会社が相乗りして保険金支払いを分担する「共同保険」だ。最初に問題が発覚したのは私鉄大手、東急グループ向けの契約だった。②入札で損保大手4社の提示額が不自然に近いことに東急の担当者

が疑念を抱き、昨年12月、この2社との取引も、立ち入り検査の対象と同様の審査に切り替えるもようだ。

金融庁はこれまで、4社に報告徴求命令を2回出した。保険業法に基づく業務改善命令を出す方向で調整している。

立ち入り検査を受け、4社は「公取委の調査に全面的に協力する」とのコメントを出した。

## 「共同保険」温床、取引先100社超

幹事社の東京海上日動火災保険に指摘。東京海上は社員が調整を主導したことを認め、入札はやり直しとなった。疑惑はその後、京成電鉄、仙台国際空港や成田国際空港会社（NAA）、石油元売りや鉄鋼業界に広がった。

共同保険はインフラ企業など、事故時の保険金支払

いが巨額となり、保険会社1社では引き受けが難しいケースで採用される。複数社での契約となる性質上、引き受け条件の連絡など他社との接触が生じやすい。企業との交渉窓口になる幹事社が他の損保に対し、より劣る条件で見積もりを出すよう指示するといった手口がみられた。

日本損害保険協会によると、火災保険は業界全体として2011年度以降、赤字体質が続いている。台風や豪雨で莫大な被害が出た18、19年度は保険金の支払いが2兆円を超えた。保険料の値上げが避けられない中、競合より高い価格を提示してシェアが低下するのを恐れ、競争回避に走ったとみられる。

損保大手4社は法人向けのシェアが9割を占める。法令順守意識の希薄さは深刻で、金融庁は月内にも業務改善命令を出す方針だ。

- 東急グループ
- 仙台国際空港
- 京成電鉄
- コスモエネルギーHD、コスモ石油
- シャープ
- JERA
- エネルギー・金属鉱物資源機構
- 東京都

公取委の審査対象となった損保大手4社の取引先

前の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 傍線部①「保険でカルテルを結ぶ」とありますが、カルテルとは何のことですか。記事の後半から30字以内で抜き出し、最初と最後の3字を書きましょう。

			~			
--	--	--	---	--	--	--

2 傍線部②「入札」とは物を買ったり、工事をしたりするときに、金額や条件を複数の業者に提出させ、一番有利なものを選ぶことです。入札のよい点は何か、2つ箇条書きで書きましょう。


3 カルテルと似た不正で、入札参加者が事前に相談し、受注事業者や受注金額などを決めてしまう行為があり、東京オリンピック・パラリンピックの大会運営事業を巡って逮捕者が出ました。その不正行為を何というか漢字2字で書きましょう。

--	--

4 国の公共事業などでカルテルを行うと、どんなよくない点がありますか。3つ書きましょう。


# NIEワークシートのこたえ（2023年12月22日公開）

## ◆ワークシート「損保カルテル(社会)」 2023.12.20付 朝刊 2面 解答例

- 1 競合同～る行為
- 2 契約する相手を公正に選ぶことができる。  
最安値を選べるためコストダウンできる。（など同意可）
- 3 談合
- 4 税金の無駄遣いになる。  
国と企業の癒着につながる。  
新規事業者が参入しにくくなる。  
市場での競争原理が働かなくなり、価格上昇や品質低下を招く  
非効率な企業を温存し、経済の停滞を招く（などから3つ同意可）